

【意見】

沼田市の地域消防団に所属している者です。

5月に消防ポンプ操法競技会が予定されていることと存じますが、コロナウイルス感染拡大を鑑み、今年は大会を中止にすべきではないかと私は思います。

実際の消火活動を想定した大会は、団員の団結力の向上のためにも意義のあるものかと存じますが、それだけに、団員は大会数ヶ月前から詰所に（毎日のように）集合し、大会で恥じることはないよう練習に励んでおります。

消防団員は、火事や災害などの緊急時に地域の安全を守る大切な役割を担っていると自負しております。我々消防団員が「詰所」という密閉空間に連日集合せざるをえない状況は、地域防災にとって有益とはいえないのではないのでしょうか。

WHOもようやくパンデミック宣言を出しましたが、ウイルスは既に日本中に拡散しているものと推測されます。

私は妻と2人の子どもがおり、普段の生活でも感染予防に最大限の注意を払いながら生活しております。仲間の消防団員もまた、それぞれ高齢者を含む大切な家族とともに生活しています。つきましては、団員・その家族ひいては地域の防災のためにも、今年の消防ポンプ車操法の中止をお願いしたいというのが私の意見です。

何卒ご検討宜しくお願い致します。

男性30代：市内在住

【回答】

5月に予定しておりました沼田市消防団ポンプ操法競技会ではありますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う各種市有施設の使用中止等により、競技会に向けた練習会場の確保が困難な状況や、団員やご家族が抱える不安を考慮して中止の判断をさせていただいたところです。

その他の消防団活動についても、引き続き新型コロナウイルスの感染状況に注視し、実施態度の判断を行ってまいりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

担当：総務部防災対策課消防係